学校番号	3035

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文探究（文科）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし（学校設定科目につき）						
副教材等	精選論理国語（数研出版）、文学国語（数研出版）、錬成現代文（尚文出版）、イラストとネットワーキングで覚える現代文単語改訂版（いいずな書店）、上級入試漢字・語彙（桐原書店）、「錬成現代文」（尚文出版）、小説速読トレーニング基礎（数研出版）、三訂版評論速読トレーニング 1500（数研出版）、段階演習共通テスト・センター試験過去問題集 2026 年度版現代文編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、評論・随筆・小説・短歌・俳句・詩などの作品を読みます。
①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。
②作品を読みながら我々が生きる現代社会の抱えるさまざまな問題、また自分や他者が抱える問題を解決へと導いていくために必要なものは何かを考えましょう。
③筆者や教員、級友らの自分とは異なる考えに耳を傾けましょう。
④①～③を通して自分の考えを整理して文章にしたり、他者により良く伝えたりする練習を重ねていきましょう。
⑤①～④を通して自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の一つを手にしてほしいと考えています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・多様な文章を読むために必要な国語の知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章の行間を読む能力、あるいは深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を知的に向上させる。
・我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち言葉を通じて他者や社会と繋がろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	あらゆる文章を読解するための知識や技能を身に付けようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や、行間を読み取り豊かに想像を広げる力を伸ばし、問題解決を意図して他者に自分の思いや考えを表現する力を養おうとしている。	言葉や文章に親しみ、生涯にわたって自ら学び自ら考える態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査	学ぶということ ［教材］ 「学問の発見」(広中平祐)	a:論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学の扉～小説とはどのようなものか～ ［教材］ 「山月記」(中島敦) 「人虎伝」	a:言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	近代と現代の視点 ［教材］ 「未来世代への責任」(岩井克人) 「科学・技術の歴史の中での社会」(村上陽一郎)	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]:人間、社会、自然などについて文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて新たな観点から自分の考えを深めている。 c:文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
前期期末考査	昭和初期の小説 ［教材］ 「山椒魚」(井伏鱒二)	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:考えを整理して山椒魚の考え方や行動に対する感想を述べ、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	情報と社会 ［教材］ 「弱いつながり」(東浩紀) 「疑似群衆の時代」(港千尋)	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	思考の枠組み ［教材］ 「『である』ことと『する』こと」(丸山真男)	a:推論の方法について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

後期中間考査	大正の小説 ［教材］ 「こころ」(夏目漱石) 「現代日本の開化」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:作品の主題をよく考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	詩歌 ［教材］ 「小諸なる古城のほとり」(島崎藤村) 「永訣の朝」(宮沢賢治) 詩歌/俳句	a:心情の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:作者の心情をよく考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	普遍的な言葉 ［教材］ 「国境を越える言葉」(長田弘)	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]:設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期期末考査	考えの表出 ［教材］ 「胆力について」(内田樹) 「日本語は非論理的か」(野矢茂樹) 「『いき』の美学」(尼ケ崎彬) 「空気」と「世間」・「世間」とは何か	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学評論 ［教材］ 「文学のふるさと」(坂口安吾) 「演技する『私』」(安藤宏)	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　３０　)時間

・読むこと　…　(　４０　)時間